

第2回川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会 会議録（摘録）

- 1 会議名 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会
- 2 日 時 令和7年3月18日（火） 10時00分～12時00分
- 3 場 所 川崎市役所第3庁舎第5会議室
- 4 出席者
(1) 委 員 藤嶋部会長、稲庭委員(リモート)、中村委員（リモート）、平井委員
(2) 事務局 (川崎市市民ミュージアム) 蛭川館長、磯崎担当課長、山崎担当係長、立石職員
(市民文化局市民文化振興室) 井上担当係長
(学芸業務受託者) 佐藤学芸室長
- 5 議 事
(1) 令和6年度事業報告及び評価について
(2) 令和7年度事業計画について
(3) 被災収蔵品の修復活動の状況について（報告）
(4) その他
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者 0名

■ 議事録

○ 開会

【蛭川館長挨拶】

【委員紹介・事務局紹介】

【会議の公開等】

【議事内容】

- （事務局から、資料1「令和6年度川崎市市民ミュージアム活動評価について」説明）
- （事務局から、資料2「展覧会等について説明）

[展覧会③ オンライン 路地の記憶 ヒップホップ的なものの社会史]

平井委員 アンケート回収率の低さを課題に挙げていたが、オンライン展示のアンケート回収の方法

は。

事務局 オンライン展の最後にリンク先を掲載している。

平井委員 すべてを見終わった後だと回収数は上がらないのではないかと。大項目ごとから答えられるようにするなど、改善の余地は考えられるのではないかと。

藤嶋議長 本展の評価は十分に達成の「A」で良いかと。

各委員 「A」でよい。

[展覧会④ 市制 100 周年記念展 爆誕！！かわさき 100 年物語]

平井委員 東海道かわさき宿交流館、大山街道ふるさと館を使用した通常の来館者数はわからないが、目標 2,000 人はどのように算出したのか。

事務局 冬場は入場者数が伸びないことと過去の入場者数実績から設定した。

平井委員 市制 100 周年であることを考えると会期も長いため 2,000 人という目標の設定が低いと、もう少し野心的に高く設定したほうが良いのではと感じる。

稲庭委員 会場規模とチラシとのギャップが大きい。100 周年ということもありチラシからはかなり大きい展覧会を想像するが、東海道かわさき宿交流館の会場がかなり小規模。場所もなく会場が非常にコンパクトだったことから目標 2,000 人を設定したと推察されるが、チラシをみて来館した人はかなり驚くと思う。展覧会タイトルやチラシが魅力的だったため、展示できる空間の確保については今後大きな課題だと思う。

藤嶋議長 今回の展示資料について、ほとんどがミュージアムのものだと思うが、資料を活用するという点ではよい展示だったと思う。

藤嶋議長 本展の評価は十分に達成「A」で良いかと。

各委員 「A」でよい。

[展覧会⑤ River/Blue 山口幸士／オンライン River/Blue 山口幸士]

平井委員 栗津潔邸の会期は 4 日間だが、これが限界だったのか。

事務局 個人宅を会場としており、費用上の都合などからこの会期が限界だった。また、夜が完全に無人であることもあり続けるのは難しかった。また、この会場は有料としたため、目標数は少なく設定している。

稲庭委員 展示する場所がない中で 2 か所を組み合わせるなど工夫があったと思う。川崎市にある文化資源的なものと展覧会を併せるというのもいい試みだった。栗津潔邸を知ったのが遅く行けなかったが、デザインや建築に関わる人は興味を持つ展示だったと思う。広報次第ではさらに入場者数も伸びた可能性がある展示であった。①②の会場での展覧会は会期が短く、オンライン展覧会の会期が長いので、広報の工夫が必要になると感じた。

藤嶋議長 本展の評価は概ね達成の「B」で良いかと。

各委員 「B」でよい。

[展覧会⑥ オンライン 紙すくひと]

平井委員 展覧会が代替のものになった経緯は。

事務局 現代作家の展示を予定していたが、作品が出来上がらなかったため、代替の展示とした。

平井委員 代替展示にすると決断した時期は。
事務局 4月に間にあわないということで、代替案にする決断をした。
平井委員 それはよくあることなのか。
事務局 数年に一度程度は準備していたとしても間に合わなくなることがある。
中村委員 コロナも収束してオンライン展示だけでなく、栗津邸のように自分が体験できる展示を好む傾向という感覚がある。その中でオンライン展示において目標の2倍を達成したことは評価できる。インスタ等でも動画を使用しての広報などは良かったと思う。リアル展示とオンライン展示を組み合わせで見せられるなどもあると、相乗効果を生み出せるのではないかと感じた。
藤嶋委員 本展については課題のご意見もでていたため「B」が良いか。
平井委員 目標を達成しているのであれば「A」で良いのではないか。
各委員 「A」でよい。

[展覧会⑦ 第58回かわさき市美術展]

藤嶋議長 ミュージアムができるまでは、ミュージアムでやることも仕方がない。今回のように100周年の賞や記念の展示など仕掛けを考えながら、公募展を引き続き続けてほしい。
藤嶋議長 本展の評価は概ね達成の「B」で良いか。
各委員 「B」でよい。

[上映会② 上映会 アニメ あ・ら・かると いろいろ色のアニメーション]

※開催前のため紹介のみ

[教育普及① ゆたかな学びの場へようこそ 川崎市市民ミュージアム講座]

稲庭委員 教育普及の参加希望者は特に50代以上が多く、重要な学びの場になっていることが分かる。アンケートを見ても、ミュージアムにこのような機能を求める方がいる。オンラインからリアルになり、リアル開催への関心が高く応募者が多い。
中村委員 リアル開催にあたり場所の問題、人手の問題が出てくるため、何人が準備に携わったのかなど、運営面の内容も記載すると評価に加えていけると良いと思う。
平井委員 学芸員が対面で行う専門分野についてレクチャーを行うこのような場を提供することは、非常に重要なため、継続して開催していただきたい。
藤嶋議長 本事業の評価は十分に達成の「A」で良いか。
各委員 「A」でよい。

[教育普及② 史跡めぐり 高津のニケ領用水を歩く]

稲庭委員 リアルで実施するのは安全面などもあり、人手もかかるので参加者が増やせないというのは理解できる。
平井委員 史跡巡りについて、往復はがきの申し込みはどのくらいあったのか。無料で実施しているが、定員に対し申込者がこれだけ多いというのは需要があるということ。保険の問題などもあると思うが、500円や1,000円など実費をもらうのはよいのではないか。費用をとるこ

とで費用を払ってでも来たいという人にせばめることができるのではないか。受益者負担の有料プログラムとして開催し、アルバイトをつけて安全上の対策をするなどしっかりと有料プログラムとして整備するなど、有料開催を検討してもよいのではないか。

事務局 申し込みについて、半数以上は往復はがきでの申し込みである。

藤嶋議長 本事業の評価は十分に達成の「A」で良いか。

各委員 「A」でよい。

[教育普及③ 社会科教育推進事業]

平井委員 アンケートの対象は生徒か教員か。

事務局 教員対象としている。

平井委員 回収方法は。

事務局 紙かWebいずれかで回答となる。出張授業の時間内での回答は難しいため、後日回答を求めている。

藤嶋議長 本事業の評価は概ね達成の「B」で良いか。

各委員 「B」でよい。

[教育普及④ スクールプログラム]

藤嶋議長 本事業の評価は概ね達成の「B」で良いか。

各委員 「B」でよい。

(事務局から、資料3 令和7年度川崎市市民ミュージアム事業計画(案)について説明)

稲庭委員 Museum+205は恒常的に使用するのか。

事務局 市民ミュージアムのみだけではなく、日本民家園、岡本太郎美術館、青少年科学館と連携した展示を実施していく予定。現在は青少年科学館が展示を行っているが、今後もミュージアムに係る展示を恒常的に実施していく予定である。空いている期間については臨時的に使用することも可能だと思う。

(事務局から、資料4 被災収蔵品の修復について報告)

中村委員 修復が進んでいることが分かって良かった。Twitterなどにあげることはできないのか。

事務局 どのような情報をどのような形で発信していくかについて、検討しているところである。館内の様子や作品の状況など外部に発信していく必要を感じているため、早ければ令和7年4月以降に市民が求める情報を研究しながら積極的に発信して行きたいと考えている。

平井委員 市民にどのように分かりやすく伝えていけるかは非常に重要である。修復の進行状況は単純な数の問題ではなく、平面や陶器など同じ1点でも修復に要する時間は、作品によって大きく異なる。何点、何個という数字だけが一人歩きしないように、今の修復の進行状況や修復の現状について誤解を受けないようにわかりやすくかみ砕いて市民に対して伝えていくことが必要だと思う。

○ 閉会